

スポーツ国際展開基盤形成事業

1. 創設年度：平成27年度

2. 令和3年度予算額：1.5億円

3. 事業概要

スポーツ国際戦略に基づき、国際的地位の向上、国際競技大会等の招致・開催、スポーツを通じた国際交流・協力等の我が国のスポーツの国際政策を統合的に展開し、その効果を最大限に高めるため、国際スポーツ界において活躍できる人材への支援・育成や政府間会合の合意事項等を実施し、スポーツ国際展開の基盤形成を推進する。〈委託〉

4. 選定理由：ア（事業の規模が大きく、又は政策の優先度の高いもの）

スポーツ基本計画及びスポーツ国際戦略等において、国際スポーツ界で活躍できる人材の確保は重要課題とされており、その支援の在り方などより効果的・効率的に実施するための検討を行う必要があると考えられるため。〈委託〉

5. 想定される論点

現行の第2期スポーツ基本計画が令和3年度に最終年となり、今後新たなスポーツ基本計画を策定・実施することになるところ、本事業によってIF役員数が増加するなど成果をあげた一方、その継続やより効果的な実施のためスポーツ国際戦略等も踏まえて、以下の論点で議論を行うことが想定される。

- ・事業をより効果的に実施するための今後の事業展開の在り方について
- ・事業の検証（国際機関における日本人役員数の目標・実績等のアウトカム・アウトプットの設定）は適切に行われているか

※ 成果指標（令和2年度）

- ・当該年度IF役員選挙において、支援対象としたNFのうち、IF役員ポストを獲得した割合

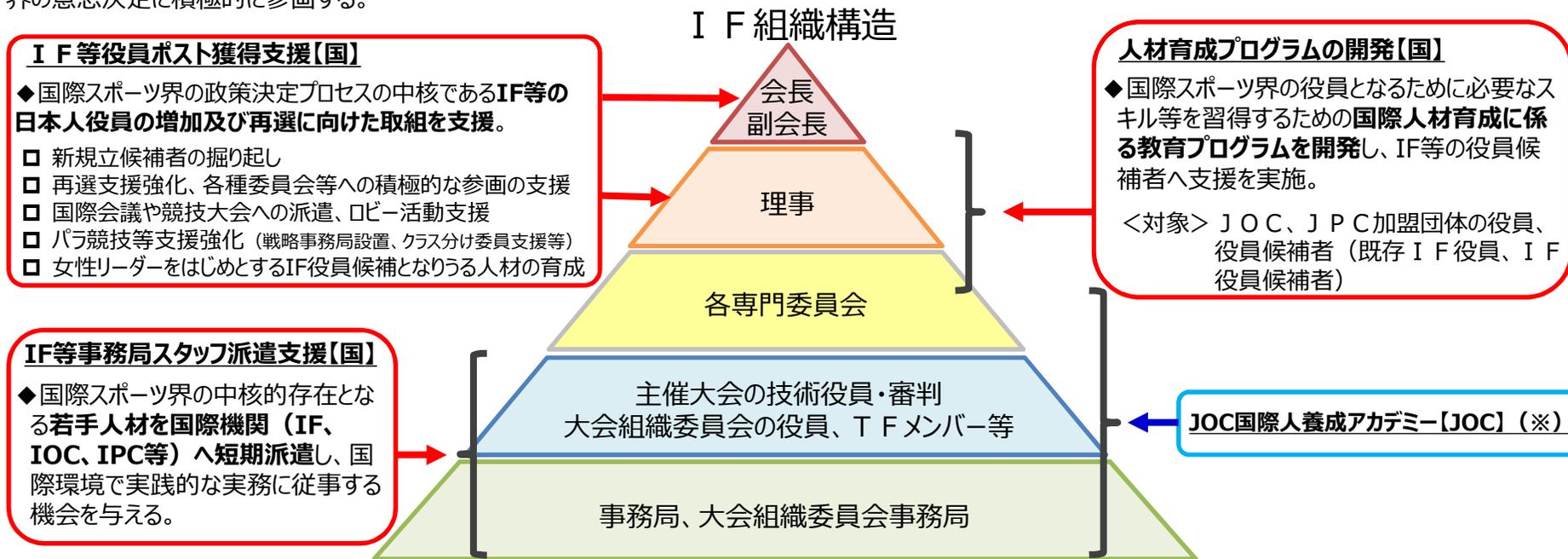
- 国際社会においてスポーツの力により「多様性を尊重する社会」、「持続可能で逆境に強い社会」「グリーンでフェアな社会」を実現するため、国際的な政策・ルール作りに積極的に参画し、スポーツを通じた国際交流・協力を戦略的に展開することが重要。
- 第2期スポーツ基本計画において、国際オリンピック委員会（IOC）、国際パラリンピック委員会（IPC）、国際競技団体（IF）等の国際機関における日本人役員が先進諸国に比べ少なく、また、国際的な情報収集能力及び戦略的な情報発信能力が不足していることから、政策課題として位置づけ。

【第2期スポーツ基本計画目標】国際オリンピック委員会、国際パラリンピック委員会、国際競技団体等の国際機関における日本人役員数
 <平成28年11月：25人 → 第2期スポーツ基本計画終了時（令和3年度末）：目標35人>
 ⇒ **令和3年3月時点で35名達成**
 （国際オリンピック委員会2名、国際パラリンピック委員会1名、IFにおける日本人役員数32名（内訳：会長1名、副会長5名、理事26名））

- 令和3年度以降も国際スポーツ界において活躍できる人材への支援・育成を実施するとともに、政府間会合への参画及び合意事項の実現等の取組により、東京大会以降も見据えた強固な基盤を構築する。

国際競技団体の役員ポストの獲得や国際人材育成支援、国内競技団体への国際交流サポート

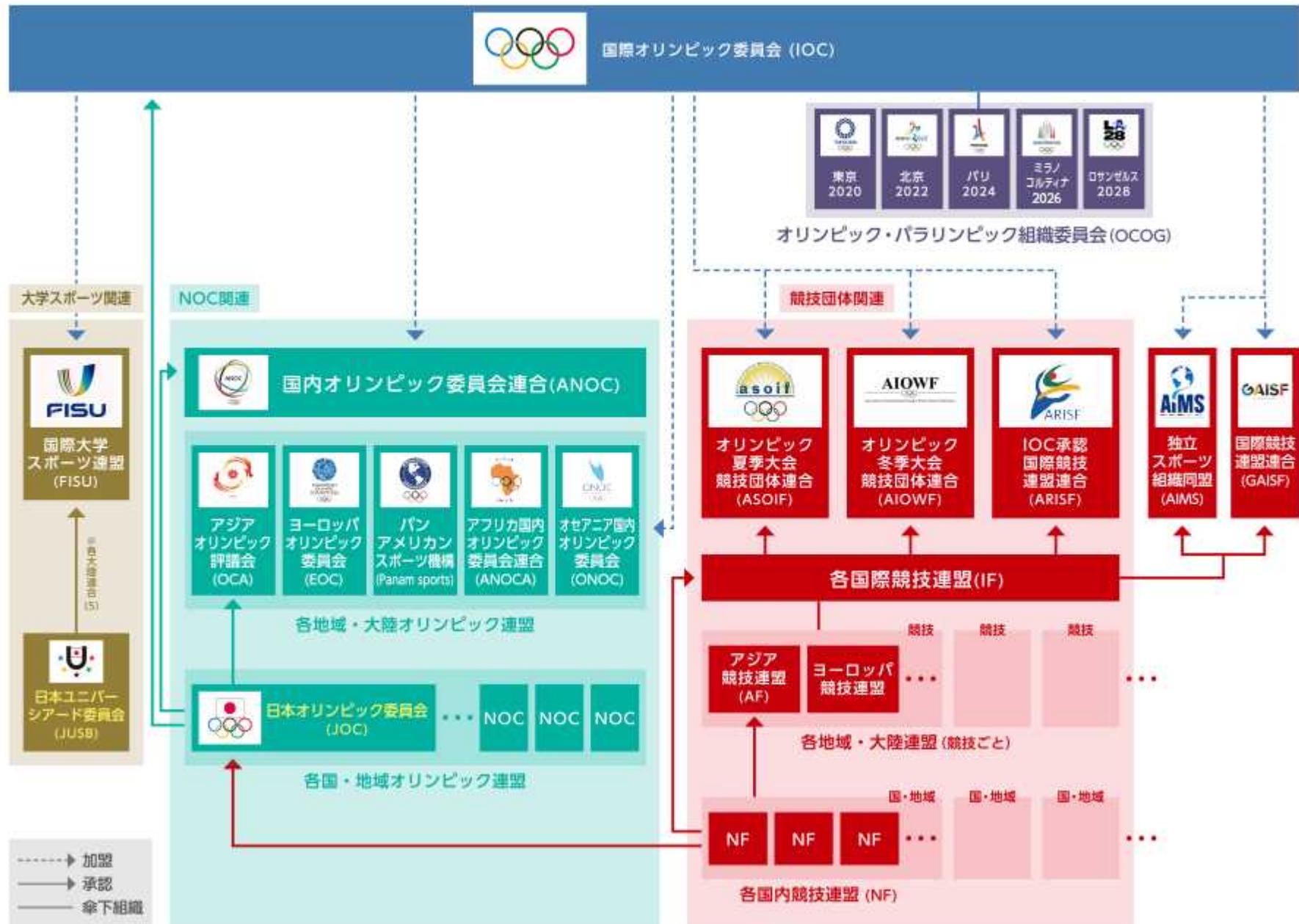
- 国は、JSC、JOC、JPC及び中央競技団体（NF）と連携し、国際人材の発掘・育成、ロビー活動支援及び職員派遣・採用の増加等を通じて、国際スポーツ界の意思決定に積極的に参画する。



※ JOC国際人養成アカデミーでは、専門委員会委員（審判、競技ルール、医事、コーチング、マーケティング等）、事務局員または国際競技大会のディレクターとなる者を対象に、5テーマ 82コマの研修を行い、国際的な折衝において活躍できる人材の育成を目指している。

(参考)

● 国際スポーツ組織関係概要図



政策・施策・事業整理票

スポーツ庁

政策

政策目標	11 スポーツの振興
概要	世界共通の人類の文化の一つであるスポーツを国民の成熟した文化として一層根付かせ豊かな未来を創るとともに、全ての人々がスポーツの力で輝き、前向きで活力ある社会と、絆の強い世界を創る。



施策

※令和2年度事前分析表より転記

達成目標のうち、当該事業が具体的にどの達成目標にあたるの分かるよう、該当部分を灰色に塗りつぶす。

施策目標	11-2 スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現
施策の概要	社会の課題解決にスポーツを通じたアプローチが有効であることを踏まえ、スポーツを通じた共生社会等の実現、経済・地域の活性化、国際貢献に積極的に取り組む。
達成目標1	障害者スポーツの振興等、スポーツを通じた健康増進、スポーツを通じた女性の活躍推進を図ることで、スポーツを通じた共生社会等の実現を図る。
達成目標2	スポーツを通じた経済・地域の活性化を図る。【経済・財政再生アクション・プログラム関連施策】
達成目標3	スポーツに係る国際的な政策・ルール作りに積極的に参画し、また国際規模の大会を成功させレガシーとして継承することで、スポーツを通じた国際社会の調和ある発展に貢献する。



事業

※令和2年度レビューシートより転記等

施策の達成目標と当該事業の目的・事業概要の関連を整理し、また当該事業の成果と上位施策との関係を明確にする。

当該事業の目的・概要・アウトカム・アウトプットのうち、どこが特に関連しているの分かるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

事業名	スポーツ国際展開基盤形成事業		
事業の目的	国際的地位の向上、国際競技大会等の招致・開催、スポーツを通じた国際交流・協力等の我が国のスポーツ国際政策を総合的に推進するため、IOC、IPC、国際競技連盟(IF)、国内外の政策・情報を収集・分析し、共有・活用する国際情報収集・分析する基盤を構築する。これらの基盤を活用し、 <u>IF役員等の選挙、国際的な人材の育成及び新たな国際競技大会の招致等を戦略的に支援する体制を整備し</u> 、支援・推進を図る。		
事業概要	<p>(1)IF等役員ポスト獲得支援(事業開始年度:平成27年度) 各国内競技団体(NF)に対して国際競技大会・国際会議の機会を活用した選挙活動に必要なサポート等を実施することにより、IF等の役員ポストを獲得する。</p> <p>(2)IF等事務局スタッフ派遣支援(事業開始年度:平成27年度) IOC、IPC、IF等に人材を派遣して実務を経験させ、国際的な実務能力及び人的ネットワークを有する人材を養成する。</p> <p>(3)スポーツ国際政策推進基盤の形成 ①IOC、IPC、IF、諸外国政府等とNF等とのネットワークの強化及び情報収集・発信能力の向上を支援し、<u>IF等役員ポスト獲得、国際人材養成、国際競技大会等の招致・開催、スポーツを通じた国際交流・協力等、我が国のスポーツ国際政策の展開の促進に必要な基盤を形成</u>するための調査・研究等を行う。(事業開始年度:平成29年度) ②スポーツを通じた国際協力施策についての先進的な事例を研究し、既存の取り組みの効果検証及び今後の展開の在り方の検討を行うとともに、その成果を活かした国際人材の育成プログラムを開発する。(事業開始年度:平成29年度) ③国際戦略推進の国家間交渉及び意思決定をリードするため、政府間会合を開催する。(事業開始年度:平成29年度)</p>		
アウトカム	①	定量的な成果目標	<u>IF役員等の選挙活動に必要なサポート等を実施することにより、IFの役員ポストを獲得する。(国際的な政策・ルール作りに貢献)</u>
		成果指標	当該年度IF役員選挙において、支援対象としたNFのうち、IF役員ポストを獲得した割合
アウトプット	(1)	(1)IF役員ポスト獲得支援	<u>日本人役員がいる国際競技団体等の数</u>
	(2)	(2)IF事務局スタッフ派遣支援	国際競技団体等への派遣実績
	(3)	(3)スポーツ国際政策推進基盤の形成	①Sports Accord Conventionにおける情報提供数
	(4)	(3)スポーツ国際政策推進基盤の形成	②国際人材育成プログラムを通して支援した対象者数
本事業の成果と上位施策との関係	オリンピック競技の国際統轄団体数が39であり、当面、東京大会が開催されるR3年度までに役員数を増加させることによってルール改正や大会開催地選定といった当該競技における政策決定への影響力強化を図る。これにより、我が国の国際競技力の向上や国際的な政策・ルール作りに資する。		

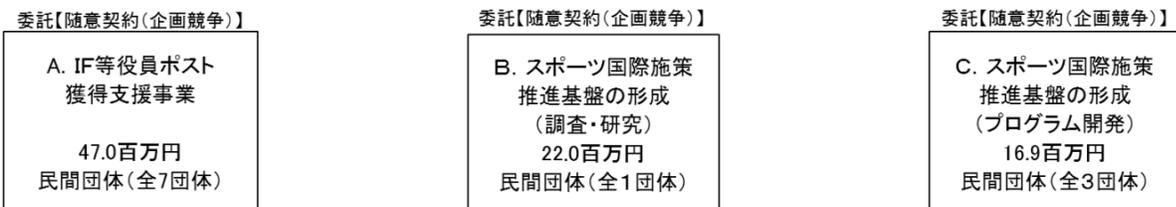
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW	AX
1																																																		
2																													事業番号		0314																			
3	令和2年度行政事業レビューシート (文部科学省)																																																	
4	事業名		スポーツ国際展開基盤形成事業													担当部局庁		スポーツ庁					作成責任者																											
5	事業開始年度		平成27年度			事業終了(予定)年度		終了予定なし													担当課室		国際課					国際課長 新井 知彦																						
6	会計区分		一般会計																																															
7	根拠法令(具体的な条項も記載)															関係する計画、通知等		第2期スポーツ基本計画(平成29年3月24日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定)																																
8	主要政策・施策															主要経費		文教及び科学振興																																
9	事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		国際的地位の向上、国際競技大会等の招致・開催、スポーツを通じた国際交流・協力等の我が国のスポーツ国際政策を統合的に展開し、その効果を最大限に高めるために、官民合同の「スポーツ国際戦略連絡会議」を設置するとともに、IOC、IPC、国際競技連盟(IF)、国内外の政策・情報を収集・分析し、共有・活用する国際情報収集・分析拠点を形成し、戦略的に発信する基盤を構築する。これらの基盤を活用し、IF役員等の選挙、国際的な人材の育成及び新たな国際競技大会の招致等をオールジャパンで戦略的に支援する体制を整備し、支援・推進を図る。																																															
10	事業概要(5行程度以内。別添可)		(1)IF等役員ポスト獲得支援(事業開始年度:平成27年度、事業終了(予定)年度:終了予定なし) 各国内競技団体(NF)に対して国際競技大会・国際会議の機会を活用した選挙活動に必要なサポート等を実施することにより、IF等の役員ポストを獲得する。 (2)IF等事務局スタッフ派遣支援(事業開始年度:平成27年度、事業終了(予定)年度:終了予定なし) IOC、IPC、IF等に人材を派遣して実務を経験させ、国際的な実務能力及び人的ネットワークを有する人材を養成する。 (3)スポーツ国際施策推進基盤の形成 ①IOC、IPC、IF、諸外国政府等とNF等とのネットワークの強化及び情報収集・発信能力の向上を支援し、IF等役員ポスト獲得、国際人材養成、国際競技大会等の招致・開催、スポーツを通じた国際交流・協力等、我が国のスポーツ国際政策の展開の促進に必要な基盤を形成するための調査・研究等を行う。(事業開始年度:平成29年度、事業終了(予定)年度:令和元年度) ②スポーツを通じた国際協力施策についての先進的な事例を研究し、既存の取り組みの効果検証及び今後の展開の在り方の検討を行うとともに、その成果を活かした国際人材の育成プログラムを開発する。(事業開始年度:平成29年度、事業終了(予定)年度:終了予定なし) ③国際戦略推進の国家間交渉及び意思決定をリードするため、政府間会合を開催する。(事業開始年度:平成29年度、事業終了(予定)年度:終了予定なし)																																															
11	実施方法		委託・請負																																															
12	予算額・執行額(単位:百万円)				平成29年度		30年度		令和元年度		2年度		3年度要求																																					
13			予算の状況		当初予算		101		130.3		109		146.7		146.7																																			
14					補正予算		-		-		-		-																																					
15					前年度から繰越し		-		-		-		-		-																																			
16					翌年度へ繰越し		-		-		-		-		-																																			
17					予備費等		-		-		-		-		-																																			
18					計		101		130.3		109		146.7		146.7																																			
19	執行額		90.5		100.7		88.2																																											
20	執行率(%)		90%		77%		81%																																											
21	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		90%		77%		81%																																											
22	歳出予算目		2年度当初予算		3年度要求		主な増減理由																																											
23	スポーツ振興事業委託費		136.8		139.4		※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。																																											
24	職員旅費		7.1		7.1																																													
25	諸謝金		1.7		1.1																																													
26	委員等旅費		0.9		0.9																																													
27	庁費		0.1		0.1																																													
29	計		146.7		146.7																																													
30	成果目標及び成果実績(アウトカム)		定量的な成果目標		成果指標				単位		平成29年度		30年度		令和元年度		中間目標		目標最終年度																															
31																	-年度		3年度																															
32			IF役員選挙活動に必要なサポート等を実施することにより、IFの役員ポストを獲得する。		当該年度IF役員選挙において、支援対象としたNFのうち、IF役員ポストを獲得した割合		成果実績		団体		8		6		9		-		-																															
33							目標値		団体		8		7		9		-		-																															
34							達成度		%		100		85.7		100		-		-																															
35	根拠として用いた統計・データ名(出典)		本事業の事業計画書及び事業完了報告書等																																															
79	成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載																								チェック																									

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW	AX
100	活動指標及び活動実績(アウトプット)						活動指標																	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	3年度活動見込																					
101	活動実績						(1)IF役員ポスト獲得支援	活動実績	団体	29	30	35	-	-																																				
102	活動実績						日本人役員がいる国際競技団体等の数	当初見込み	団体	28	31	32	35	35																																				
103	活動指標及び活動実績(アウトプット)						活動指標																	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	3年度活動見込																					
104	活動実績						(2)IF事務局スタッフ派遣支援	活動実績	名	4	1	0	-	-																																				
105	活動実績						国際競技団体等への派遣者数	当初見込み	名	4	2	2	2	2																																				
106	活動指標及び活動実績(アウトプット)						活動指標																	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	3年度活動見込																					
107	活動実績						(3)スポーツ国際施策推進基盤の形成	活動実績	回	40	92	37	-	-																																				
108	活動実績						①Sports Accord Conventionにおける情報提供数	当初見込み	回	40	40	40	-	-																																				
109	活動指標及び活動実績(アウトプット)						活動指標																	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	3年度活動見込																					
110	活動実績						(3)スポーツ国際施策推進基盤の形成	活動実績	名	-	7	8	-	-																																				
111	活動実績						②国際人材育成プログラムを通して支援した対象者数	当初見込み	名	-	-	10	8	10																																				
115	算出根拠																						単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込																							
116	単位当たりコスト						(1)IF等役員ポストの獲得支援に関する一件当たりのコスト	単位当たりコスト	円	1,748,719	1,216,492	1,342,767	2,341,543																																					
117	計算式						IF等役員ポスト獲得支援事業執行額 ／選挙活動に必要なサポート実施件数	計算式	執行額 /件数	45,466,706 /26	37,711,243 /31	46,996,842 /35	81,954,000/35																																					
118	算出根拠																						単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込																							
119	単位当たりコスト						(2)IF等事務局への派遣支援に関する一人当たりのコスト	単位当たりコスト	円	5,699,574	601,426	-	1,381,000																																					
120	計算式						IF等事務局スタッフ派遣支援事業執行額 ／国際的スポーツ団体等への派遣人数	計算式	執行額 /人数	22,798,296 /4	601,426 /1	-	2,762,000/2																																					
121	算出根拠																						単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込																							
122	単位当たりコスト						(3)スポーツ国際施策推進基盤の形成①に係る 一回当たりのコスト	単位当たりコスト	円	1,732,950	1,705,288	-	-																																					
123	計算式						Sports Accord Conventionにおけるブース設置費用 ／Sports Accord Conventionにおけるブース設置数	計算式	執行額 /回	1,732,950/1	1,705,288/1	-	-																																					
124	算出根拠																						単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込																							
125	単位当たりコスト						(3)スポーツ国際施策推進基盤の形成②に係る 一人当たりのコスト	単位当たりコスト	円	-	847,133	540,651	890,956																																					
126	計算式						人材育成プログラムの開発事業執行額 ／国際人材育成プログラムを通して支援した対象者数	計算式	執行額 /人数	-	5,929,932 /7	4,325,210/8	7,127,650/8																																					
130	政策評価、 新経済	政策評価	政策	11 スポーツの振興																																														
131			施策	11-2 スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現																																														
132			測定指標	定量的指標																	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 -年度	目標年度 3年度																								
133				実績値	人	29	30	35	-	-																																								
134				目標値	人	-	-	-	-	35																																								
135				本事業の成果と上位施策・測定指標との関係																																														
187			オリンピック競技の国際統轄団体数が39であり、東京大会が開催されるR3年度までに役員数を増加させることによってルール改正や大会開催地選定といった当該競技における政策決定への影響力強化を図ることにより、我が国の国際競技力を向上させる。																																															
188																																																		
189																																																		

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW	AX
715	事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。																				○	派遣先における業務・研修を通じて国際的な実務能力の取得と人的ネットワークの構築が積極的に行われている。																											
716		事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。																				○	国際機関派遣中に生じる必要経費について、現地調達で安価に収められる方法を探す等の精査を行っている。																											
717		活動実績は見込みに見合ったものであるか。																				○	活動実績は見込みにほぼ見合ったものである。																											
718		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。																				○	情報共有連絡会議を設置し、各団体の実施状況の情報共有等を図り、事業の効果的な運営を行っている。																											
719	関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)																				-																												
720		所管府省名	事業番号										事業名																																					
721																																																		
722																																																		
723																																																		
724																																																		
725																																																		
726	点検・改善結果	点検結果	事業の成果実績は目標を達成し、事業の成果が十分に活用されていることから、事業の有効性は確保されている。委託事業の契約及び委託額の確定手続きに当たっては、事業計画書、完了報告書により事業経費の費目・用途の内容を審査し、その妥当性と合理性を確認している。																																															
727		改善の方向性	事業内容及び事業経費の費目・用途の内容をより厳密に審査し、事業の効率性を高めることとする。事業期間中は事業者と緊密に連絡を取り合い、進捗状況及び事業経費の執行状況を確認し、適宜必要な助言を行うことにより、事業者が成果目標を達成できるよう促していく。																																															
728	外部有識者の所見																																																	
729	外部有識者による点検対象外																																																	
730	行政事業レビュー推進チームの所見																																																	
731	事業内容の一部改善	<p>1. 事業評価の観点: この事業は、国際的地位の向上、国際競技大会等の招致・開催、スポーツを通じた国際交流・協力等の我が国のスポーツ国際政策を統合的に展開し、その効果を最大限に高めることを目的とするものであり、事業の成果の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: この事業は、IF役員等の選挙、国際的な人材の育成及び新たな国際競技大会の招致等をオールジャパンで戦略的に支援する体制を整備し、支援・推進を図るものであり、国の事業としての必要性は認められる。成果目標・指標や活動指標は設定されているが、今後はフォローアップ調査を行うなど、事業の成果をよりの確に把握する仕組みを事業に組み込むべきである。</p>																																																
732	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																																																	
733	執行等改善	本事業については、令和3年度以降も同様の取組を継続して実施しつつ、事業の成果を把握・整理するとともに、その成果の適切な活用、普及についてより一層工夫することでPDCAサイクルを回す取組を促すことにより、事業内容の更なる改善・強化を図る。																																																
734	備考																																																	
735	<p><参考> 第2期スポーツ基本計画について: http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/1372413.htm スポーツ立国戦略について: http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm <その他> 単位当たりコスト(2)及び(3)については、令和元年度に支出が無かったため実績の記載がない。</p>																																																	
736	関連する過去のレビューシートの事業番号																																																	
737	平成22年度	-										平成23年度	-										平成24年度	-										平成25年度	-															
738	平成26年度	-										平成27年度	新27-0036										平成28年度	328										平成29年度	319															
739	平成30年度	318																																																
740	平成31年度	文部科学省 (0312)																																																

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW	AX
741	※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。																																																	
742	なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。																																																	
743	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> スポーツ庁 88.2百万円 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 職員旅費:1.5百万円 庁費:0.6百万円 委員等旅費:0.2百万円 を含む。 </div> </div>																																																	
744	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> IFの役員ポストを獲得すること及び、IF等の政策決定過程において情報収集・発信を行うことができる人材を養成することにより、国際スポーツ界における我が国の影響力の強化を図る。 </div>																																																	
745	↓																																																	
746	↓																																																	
747	↓																																																	
748	↓																																																	
749	↓																																																	
750	↓																																																	
751	↓																																																	
752	↓																																																	
753	↓																																																	
754	↓																																																	
755	↓																																																	
756	↓																																																	
757	↓																																																	
758	↓																																																	
759	↓																																																	
760	↓																																																	
761	↓																																																	
762	↓																																																	
763	↓																																																	
764	↓																																																	
765	↓																																																	
766	↓																																																	
767	↓																																																	
768	↓																																																	
769	↓																																																	
770	↓																																																	
771	↓																																																	
772	↓																																																	
773	↓																																																	
774	↓																																																	
775	↓																																																	
776	↓																																																	
777	↓																																																	
778	↓																																																	
779	↓																																																	
780	↓																																																	
781	↓																																																	
782	↓																																																	
783	↓																																																	
784	↓																																																	
785	↓																																																	
786	↓																																																	
787	↓																																																	
788	↓																																																	
789	↓																																																	
790	↓																																																	
791	↓																																																	
792	↓																																																	
793	↓																																																	
794	↓																																																	
795	↓																																																	
796	↓																																																	
797	↓																																																	
798	↓																																																	
799	↓																																																	
800	↓																																																	
801	↓																																																	
802	↓																																																	
803	↓																																																	
804	↓																																																	
805	↓																																																	
806	↓																																																	
807	↓																																																	
808	↓																																																	
809	↓																																																	
810	↓																																																	
811	↓																																																	
812	↓																																																	
813	↓																																																	
814	↓																																																	
815	↓																																																	
816	↓																																																	
817	↓																																																	
818	↓																																																	
819	↓																																																	
820	↓																																																	
821	↓																																																	
822	↓																																																	
823	↓																																																	
824	↓																																																	
825	↓																																																	
826	↓																																																	
827	↓																																																	
828	↓																																																	
829	↓																																																	
830	↓																																																	
831	↓																																																	
832	↓																																																	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



国内競技団体(NF)の優れた人材がIF等の会長、副会長、又は理事等の役員(以下、会長、副会長、理事等を総称して「役員」という。)ポストを獲得するため、各NFに対して、外部有識者等のコンサルテーションの提供、候補者のマッチング、国際競技大会や国際会議の機会を活用した選挙活動に必要なサポート等を実施することにより、短期的にIF等の役員ポストを獲得し、IF等の政策決定過程(国際競技大会の開催、競技種目の採用、競技ルール・用具の変更、競技役員・審判の選出等)において、情報収集・発信を行い、国際スポーツ界における我が国の影響力の強化を図る。

IOC、IPC、IF、諸外国政府等とNF等とのネットワークの強化及び情報収集・発信能力の向上を支援し、IF等役員ポスト獲得、国際人材養成、国際競技大会等の招致・開催、スポーツを通じた国際交流・協力等、我が国のスポーツ国際政策の展開の促進に必要な基盤を形成するための調査・研究を行い、国際スポーツ界における我が国の影響力を強化し、情報収集・発信能力を高めることで、スポーツ国際政策の展開促進を図る。

スポーツ国際政策についての先進的な事例を研究し、日本が今後の展開すべき国際展開の在り方を検討するとともに、各方面でスポーツ国際展開を担う人材を育成するためのプログラムや実施体制を考案する。

費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.公益財団法人日本オリンピック委員会			B.独立行政法人日本スポーツ振興センター		
費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
旅費	渡航費、宿泊費	22.1	人件費	賃金	7.3
一般管理費	一般管理費	0.5	旅費	渡航費、宿泊費	6.9
雑役務費	海外旅行傷害保険	0.3	借損料	出展料、Wi-Fi借上	3.1
借損料	会議室借上	0	消費税相当額	消費税相当額	1.9
諸謝金	会議出席謝金	0	雑役務費	会議参加費	1.4
会議費	飲料	0	一般管理費	一般管理費	1
消費税相当額	消費増税	0	その他	通信運搬費、諸謝金、消耗品費	0.3
計		23	計		22
C.独立行政法人日本貿易振興機構			D.		
費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
雑役務費	業務委託費	3.6			
旅費	渡航費、宿泊費	1.1			
一般管理費	一般管理費	0.6			
借損料	会場借上	0.5			
消費税相当額	消費増税	0.5			
その他	印刷製本費、消耗品費、諸謝金	0.1			
計		6.4	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	AH	AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW	AX
833																																																		
835	支出先上位10者リスト																																																	
836	A.																																																	
837		支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)																																									
838	1	公益財団法人日本オリンピック委員会	6011005003378	IF等役員ポスト獲得支援	23	随意契約 (企画競争)	7	100%	-																																									
839	2	公益財団法人日本体操協会	7011005000309	IF等役員ポスト獲得支援	7.5	随意契約 (企画競争)	7	100%	-																																									
840	3	一般財団法人日本ろうあ連盟	1011105000131	IF等役員ポスト獲得支援	6.8	随意契約 (企画競争)	7	100%	-																																									
841	4	公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会	5011005000120	IF等役員ポスト獲得支援	3.4	随意契約 (企画競争)	7	100%	-																																									
842	5	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会	7010005017932	IF等役員ポスト獲得支援	3.3	随意契約 (企画競争)	7	100%	-																																									
843	6	公益社団法人日本トライアスロン連合	6011005003774	IF等役員ポスト獲得支援	2	随意契約 (企画競争)	7	100%	-																																									
844	7	公益財団法人全日本スキー連盟	9011005000232	IF等役員ポスト獲得支援	0.9	随意契約 (企画競争)	7	100%	-																																									
868																																																		
869	B																																																	
870		支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)																																									
871	1	独立行政法人日本スポーツ振興センター	5011105002256	スポーツ国際施策推進基盤の形成(調査・研究)	22	随意契約 (企画競争)	1	100%	-																																									
901																																																		
902	C																																																	
903		支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)																																									
904	1	独立行政法人日本貿易振興機構	2010405003693	スポーツ及びスポーツ産業の国際展開に係るネットワーク構築	6.4	随意契約 (企画競争)	1	100%	-																																									
905	2	独立行政法人日本スポーツ振興センター	5011105002256	スポーツ国際政策に関する先進事例の研究と国際ネットワークの構築	6.2	随意契約 (企画競争)	1	100%	-																																									
906	3	公益財団法人日本オリンピック委員会	6011005003378	人材育成プログラムの開発	4.3	随意契約 (企画競争)	1	100%	-																																									
1099	支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載								チェック																																									
1100																																																		
1101	国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト																																																	
1102	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)																																									
1103	1	-	-	-	-	-	-	-	-																																									

令和2年度実施施策に係る事前分析表

(文R2-11-2)

施策名	スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現					部局名	スポーツ庁国際課	作成責任者	新井 知彦		
施策の概要	社会の課題解決にスポーツを通じたアプローチが有効であることを踏まえ、スポーツを通じた共生社会等の実現、経済・地域の活性化、国際貢献に積極的に取り組む。							政策評価 実施予定時期	令和5年度 以降に実施		
施策の予算額・執行額 (千円)	令和元年度予算額 (執行額)		令和2年度 当初予算額		施策に係る内閣の 重要施策(主なもの)			第2期スポーツ基本計画第3章2 など			
	1,853,775 (1,660,970)		1,982,461								
達成目標1	障害者スポーツの振興等、スポーツを通じた健康増進、スポーツを通じた女性の活躍推進を図ることで、スポーツを通じた共生社会等の実現を図る。						目標設定の 考え方・根拠	第2期スポーツ基本計画(平成29年3月文部科学大臣決定)第3章2(1) 「スポーツを通じた共生社会等の実現」を踏まえ設定。			
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠			
	H27年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R3年度	【測定指標及び目標値の設定根拠】 ・第2期スポーツ基本計画において、「障害者の週1回以上のスポーツ実施率を40%程度(若年層(7~19歳)は50%程度)とすることを旨とする」とされていることから、本目標値を設定した。 【成人】 分母：事業の調査研究における、成人の有効回答数 分子：上記調査で、「過去1年間にスポーツ・スポーツレクリエーションを週1回以上行った」と回答した成人の数(「週に3日以上、週に1~2日以上」を含む) 【若年層】 分母：事業の調査研究における、7~19歳の有効回答数 分子：上記調査で、「過去1年間にスポーツ・スポーツレクリエーションを週1回以上行った」と回答した7~19歳の数(「週に3日以上、週に1~2日以上」を含む) 【出典】 令和元年度「障害者スポーツ推進プロジェクト(障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究)」			
①障害者のスポーツ実施率(週1回以上)	【成人】 19.2%	19.2%	—	20.8%	—	25.3%	40%				
	【若年層 (7~19歳)】 31.5%	31.5%	—	29.6%	—	30.4%	50%				
	年度ごとの 目標値	—	—	—	—	—	/				
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠			
	H27年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R3年度	【測定指標及び目標値の設定根拠】 ・第2期スポーツ基本計画において、「障害者の週3回以上のスポーツ実施率を20%程度とすることを旨とする」とされていることから、本目標値を設定した。 ・分母：事業の調査研究における、成人の有効回答数 分子：上記調査で、「過去1年間にスポーツ・スポーツレクリエーションを週3日以上行った」と回答した成人の数 【出典】 令和元年度「障害者スポーツ推進プロジェクト(障害者のスポーツ参加促進に関する調査研究)」			
②障害者のスポーツ実施率(週3回以上)	9.3%	9.3%	—	9.8%	—	12.5%	20%				
	年度ごとの 目標値	—	—	—	—	—					

測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠
	H28年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R3年度	
③成人のスポーツ実施率（週1回以上）	【全体】 42.5%	40.4%	42.5%	51.5%	55.1%	53.6%	65%	【測定指標及び目標値の設定根拠】 ・第2期スポーツ基本計画において、「成人のスポーツ実施率を週1回以上が65%程度となることを目指す」とされていることから、本目標値を設定した。 ・分母：事業の調査研究における、成人の有効回答数 分子：上記調査で、「過去1年間にスポーツ・スポーツレクリエーションを週1日以上行った」と回答した成人の数 【出典】「令和元年度 スポーツの実施状況等に関する世論調査」
	年度ごとの 目標値	—	—	—	—	—		
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠
	H28年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R3年度	
④成人のスポーツ実施率（週3回以上）	【全体】 19.7%	19.6%	19.7%	26.0%	27.8%	27.0%	30%	【測定指標及び目標値の設定根拠】 ・第2期スポーツ基本計画において、「成人のスポーツ実施率を週3回以上が30%程度となることを目指す」とされていることから、本目標値を設定した。 ・分母：事業の調査研究における、成人の有効回答数 分子：上記調査で、「過去1年間にスポーツ・スポーツレクリエーションを週3日以上行った」と回答した成人の数（「週5日以上」を含む） 【出典】「令和元年度 スポーツの実施状況等に関する世論調査」
	年度ごとの 目標値	—	—	—	—	—		
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠
	H28年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R3年度	
⑤成人女性のスポーツ実施率（週1回以上）	41.0%	39.4%	41.0%	49.9%	53.0%	51.0%	65%	【測定指標及び目標値の設定根拠】 ・第2期スポーツ基本計画において、「成人（女性を含む）のスポーツ実施率を週1回以上が65%程度となることを目指す」とされていることから、本目標値を設定した。 ・分母：事業の調査研究における、成人女性の有効回答数 分子：上記調査で、「過去1年間にスポーツ・スポーツレクリエーションを週1日以上行った」と回答した成人女性の数 【出典】「令和元年度 スポーツの実施状況等に関する世論調査」
	年度ごとの 目標値	—	—	—	—	—		
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠
	H28年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R3年度	
⑥成人女性のスポーツ実施率（週3回以上）	18.4%	19.8%	18.4%	25.1%	26.7%	25.9%	30%	【測定指標及び目標値の設定根拠】 ・第2期スポーツ基本計画において、「成人（女性を含む）のスポーツ実施率を週3回以上が30%程度となることを目指す」とされていることから、本目標値を設定した。 ・分母：事業の調査研究における、成人女性の有効回答数 分子：上記調査で、「過去1年間にスポーツ・スポーツレクリエーションを週3日以上行った」と回答した成人女性の数（「週5日以上」を含む） 【出典】「令和元年度 スポーツの実施状況等に関する世論調査」
	年度ごとの 目標値	—	—	—	—	—		

達成手段 (開始年度)	令和元年度予算額 (執行額) 【百万円】	令和2年度 当初予算額 【百万円】	関連する 指標	行政事業レビュー 番号	備考
障害者スポーツ推進プロジェクト (平成30年度)	62.4 (55.7)	87.5	①～④	0318	—
Special プロジェクト2020 (平成29年度)	39.5 (22)	41.4	①～④	0309	—
日本障がい者スポーツ協会補助 (平成26年度)	288.5 (288.5)	352.4	①～④	0310	—
全国障害者スポーツ大会開催事業 (地方スポーツ振興費補助) (平成26年度)	81 (81)	81	①～④	0311	—
※11-1より再掲 Sport in Life推進 プロジェクト (令和2年度) 【再掲】	—	255.7	⑤⑥	新02-0021	—
昨年度事前分析表からの変更点	測定指標⑤⑥の達成手段として、Sport in Life推進プロジェクトを新たに登録。				

達成目標2	スポーツを通じた経済・地域の活性化を図る。 【経済・財政再生アクション・プログラム関連施策】						目標設定の 考え方・根拠	第2期スポーツ基本計画（平成29年3月文部科学大臣決定）第3章2 （2）「スポーツを通じた経済・地域の活性化」を踏まえ設定。
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠
	H24年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R7年度	
①スポーツ市場規模（兆円）	約5.5	約5.5	—	約8.4 ※スポーツ GDP基準	—	—	15	【測定指標及び目標値の設定根拠】 成長戦略において「スポーツ市場規模を2020年までに10兆円、2025年までに15兆円に拡大することを目指す。」とされていることから、本目標値を設定した。 【出典】成長戦略フォローアップ（令和元年6月21日閣議決定） 【APにおいて、「スポーツ市場規模 ※2012年：5.5兆円→2020年：10兆円、2025年：15兆円」とされている。】 【実績値の進展】：「わが国スポーツ産業の経済規模推計～日本版スポーツサテライトアカウント2019～2017年推計」（株式会社日本経済研究所）（2020年3月）
	年度ごとの 目標値	—	—	—	—	—		
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠
	H28年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R3年度	
②地域スポーツコミッションの設置数	56	38	56	83	99	118	170	【測定指標及び目標値の設定根拠】 ・第2期スポーツ基本計画において、「地域スポーツコミッションの設置数を170に拡大することを目指す」とされていることから、本目標値を設定した。 【出典】第2期スポーツ基本計画（平成29年3月24日策定）、スポーツ庁調査 【APにおいて、「地域スポーツコミッション設置数 2016年度：56→2021年度：170」とされている。】
	年度ごとの 目標値	—	—	—	—	—		
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠
	H27年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R3年度	
③スポーツ目的の訪日外国人旅行者数（万人）	138	138	150	187	195	229	250	【測定指標及び目標値の設定根拠】 ・第2期スポーツ基本計画において、「スポーツ目的の訪日外国人旅行者数を250万人程度に拡大することを目指す」とされていることから、本目標値を設定した。 【出典】第2期スポーツ基本計画（平成29年3月24日策定）、訪日外国人消費動向調査、日本政府観光局公表の訪日外国人旅行者数 【APにおいて、「スポーツ目的の訪日外国人旅行者数 2015年度：約138万人→2021年度：250万人」とされている。】
	年度ごとの 目標値	—	—	—	—	—		

測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠
	H27年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R3年度	
④スポーツツーリズム関連消費額（億円）	2,204	2,204	2,542	2,702	2,892	3,584	3,800	<p>【測定指標及び目標値の設定根拠】</p> <p>・第2期スポーツ基本計画において、「スポーツツーリズム関連消費額を3,800億円程度に拡大することを目指す」とされていることから、本目標値を設定した。</p> <p>【出典】第2期スポーツ基本計画（平成29年3月24日策定）、旅行・観光消費動向調査</p> <p>【APにおいて、「スポーツツーリズム関連消費額 2015年度：約2,204億円→2021年度：3,800億円」とされている。】</p>
	年度ごとの目標値	—	—	—	—	—		
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠
	H29年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R7年度	
⑤多様な世代が集う交流拠点のスタジアム・アリーナの個数	—	—	—	—	—	—	20	<p>【測定指標及び目標値の設定根拠】</p> <p>成長戦略において「全国のスタジアム・アリーナについて、多様な世代が集う交流拠点として、2017年から2025年までに20拠点を實現する」とされていることから、本目標を設定した。</p> <p>対象となるスタジアム・アリーナを定めた選定要綱に基づき、対象となるスタジアム・アリーナの選定を年度内に開始する。</p> <p>【出展】成長戦略フォローアップ（令和2年7月17日閣議決定）</p> <p>【APにおいて、「地域交流拠点としてのスタジアム・アリーナ設置数 ※2017年から2025年までに20拠点 ※スタジアム・アリーナ改革により、民間活力の導入を促し、収益性の向上を図る。」とされている。】</p>
	年度ごとの目標値	—	—	—	—	—		

達成手段 (開始年度)	令和元年度予算額 (執行額) 【百万円】	令和2年度 当初予算額 【百万円】	関連する 指標	行政事業レビュー 番号	備考
スポーツ産業の成長促進事業 (平成29年度)	203.6 (197.2)	238.5	①⑤	0312	スポーツの成長産業化を図るため、地域交流拠点としてのスタジアム・アリーナの実現やICTによるスポーツ指導者や施設等の活用、スポーツ団体の経営力強化及びIoTやAI活用等による新たなスポーツビジネスの創出を推進する。 【APにおいて、「スポーツ市場規模 ※2012年：5.5兆円→2020年：10兆円、2025年：15兆円」とされている。】
スポーツツーリズム・ムーブメント創出事業 (平成29年度)	25.7 (24.9)	25.7	①②③④	0313	—
「スポーツ資源」を活用したインバウンド拡大の環境整備 (令和2年度)	—	160	①②③④	新2-0024	—
スポーツによる地域活性化推進事業（スポーツによるまちづくり・地域活性化活動支援事業）（再掲） (平成27年度)	—	—	①②③④	—	—
スタジアム・アリーナ推進官民連携協議会 (平成28年度)	—	—	①⑤	—	スタジアム・アリーナ改革の理念を体現する全国のスタジアム・アリーナについて、数値目標である20拠点の達成に向けた選定基準の策定を官民共同で議論。
スタジアム・アリーナ改革ガイドブック (平成29年度)	—	—	①⑤	—	スタジアム・アリーナ改革の全体の方角性を提示したスタジアム・アリーナ改革指針及び民間資金・ノウハウ活用のポイントを整理したスタジアム・アリーナ整備に係る資金調達手法・民間資金活用プロセスガイド並びに国内外のスタジアム・アリーナ先進事例及びスタジアム・アリーナにおける顧客経験価値向上に資する技術事例等を取りまとめて提示。 【APにおいて、「官民連携のポイント等をまとめた『スタジアム・アリーナ改革ガイドブック』、基本構想・基本計画段階における望ましい検討手順を示した『スタジアム・アリーナ運営・管理計画ガイドライン』の普及、先進事例の形成」が挙げられている。】
昨年度事前分析表からの変更点					

達成目標3	スポーツに係る国際的な政策・ルール作りに積極的に参画し、また国際規模の大会を成功させレガシーとして継承することで、スポーツを通じた国際社会の調和ある発展に貢献する。						目標設定の考え方・根拠	第2期スポーツ基本計画（平成29年3月文部科学大臣決定）第3章2（3）「スポーツを通じた国際社会の調和ある発展への貢献」を踏まえ設定。
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠
	H28年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R3年度	
①国際競技団体等の日本人役員数	26	22	26	29	30	35	35	【測定指標及び目標値の設定根拠】 第2期スポーツ基本計画において、国際競技連盟等の役員数を、現状の26名から令和3年度までに35名を目指すことが数値目標とされているため。 【出典】スポーツ庁調べ
	年度ごとの目標値	—	—	—	—	—		
測定指標	基準値	—						
②国際競技大会の招致	実績	H28年度	2026年アジア競技大会の招致実現					
		H29年度	2023年FIBAバスケットボールワールドカップ招致実現					
		H30年度	第4回IAAF世界リレー招致実現					
		R1年度	2020年FIGパルクール世界選手権大会、世界パラ陸上競技選手権大会					
	目標	R3年度	平成29年度から令和3年度までに国際競技大会を5大会招致実現					
測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠		【測定指標及び目標値の設定根拠】 第2期スポーツ基本計画において、「スポーツを巡る国際的な政策，ルールづくりや国際協力に積極的に参画し国内の取組に反映すること，国際競技大会や国際会議を開催すること，それらに必要な国際人材を育成することを通じ，我が国がリーダーシップを発揮して国際的地位を高める。」とされている。 【出典】スポーツ庁調べ						
測定指標	基準値	実績値					目標値	測定指標の選定理由及び目標値（水準・目標年度）の設定の根拠
	—	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R3年度	
③Sport for Tomorrowプログラム事業実施による裨益者数	—	187か国・地域 1,096,000人	193か国・地域 3,483,772人	202か国・地域 6,643,308人	202か国・地域 9,639,949人	204か国・地域 12,065,656人	100か国・地域 10,000,000人	【測定指標及び目標値の設定根拠】 2013年9月、プエノスアイレスでのIOC総会における、総理による2020年東京大会の招致スピーチ。 【出典】独立行政法人日本スポーツ振興センター報道発表 注：スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム会員団体がスポーツ分野での事業を実施することにより直接的・間接的に日本からスポーツの価値を届けた人の数（日本人を除く）
	年度ごとの目標値	—	—	—	—	—		

達成手段 (開始年度)	令和元年度予算額 (執行額) 【百万円】	令和2年度 当初予算額 【百万円】	関連する 指標	行政事業レビュー 番号	備考
スポーツ・フォー・トゥモロー等推進プログラム (平成27年度)	1,171.4 (1,037.7)	1,035.2	③	0315	—
スポーツ国際展開基盤形成事業 (国際情報戦略強化事業より改称:平成27年度)	109 (88.2)	146.7	①②	0314	—
2020年東京大会関係者を対象とした風しん・ 麻しんに関する特別対策事業 (令和元年度)	0 (-)	—	①～③	0319	—
平成三十二年東京オリンピック競技大会・東京パラ オリンピック競技大会特別措置法の改正	—	—	②	—	—
平成三十一年ラグビーワールドカップ大会特 別措置法の改正	—	—	②	—	—
昨年度事前分析表からの変更点					